

平成21年8月期 第3四半期決算短信

平成21年7月14日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 エッチ・ケー・エス

コード番号 7219 URL <http://www.hks-power.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 浩之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 敏明

TEL 0544-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第3四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第3四半期	5,212	—	84	—	54	—	17	—
20年8月期第3四半期	6,218	3.0	246	—	257	—	128	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第3四半期	3.65	—
20年8月期第3四半期	25.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第3四半期	10,410	7,922	75.9	1,700.78
20年8月期	11,203	8,155	72.6	1,685.88

(参考) 自己資本 21年8月期第3四半期 7,897百万円 20年8月期 8,129百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年8月期	—	0.00	—		
21年8月期(予想)				10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△12.3	100	△74.5	100	△74.4	50	△77.7	10.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第3四半期 5,022,000株 20年8月期 5,022,000株

② 期末自己株式数 21年8月期第3四半期 378,700株 20年8月期 199,700株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年8月期第3四半期 4,733,677株 20年8月期第3四半期 5,021,471株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、アメリカ発の金融危機がかつて経験したことの無い速さで世界経済を直撃し、輸出依存の高い日本が特に深刻な不況に陥った時期となりました。

世界中で自動車の販売に急ブレーキがかかり、円高も重なり、つれて家電・半導体・工作機械等日本の主要産業がおしなべて未曾有の販売不振、ひいては業績の大幅な悪化を招いております。

アフターマーケット業界についても、国内の販売不振はもとより、円高もあって海外では更に極端な不振に陥っております。

当社グループにあっても同様に、国内アフターマーケットでの販売は低迷し、海外は更に苦戦を強いられております。受託生産も厳しい状況で推移いたしました。このような市場環境の劇的な悪化に対応すべく、一層の経費削減や商品戦略の見直し、棚卸資産の圧縮等を強力に推し進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,212百万円、営業利益は84百万円、経常利益は円高により為替差損が発生したことから54百万円、四半期純利益は17百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アフターパーツでは、車種バリエーションの追加・シリーズの展開等を図ってまいりました。マフラー製品では新たに、デザインにこだわったスタイリッシュな「クールスタイル」シリーズや、サスペンション製品では究極のベーシックモデルと銘打った「スマート」シリーズをそれぞれ新たに発売いたしました。またディーゼル車向けの燃料噴射制御機器として「F-c o n (D)」を新規開発し販売を開始しました。これまでディーゼル車のチューニング商材はあまり手がけてこなかったのですが、ヨーロッパやアジアでの普及に鑑みこれを今後は省燃費機能を付加する等の開発を順次行い、世界戦略商品として育てていきたいと考えております。市況停滞の影響は甚大で全体として販売は低迷いたしました。また、受託生産も厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は4,724百万円、営業利益は181百万円となりました。

(北米)

自動車業界は不振を極めており、販売も最悪期は脱したと思われませんが依然低迷が続いております。経費等の削減を強力に進めたことにより、売上高は566百万円、営業利益は11百万円となりました。

(ヨーロッパ)

ヨーロッパの経済はアメリカ以上の不況とも言われておりますが、西欧で市場の影響を受けながらも、東欧等新興国への売上等が加わったことにより、売上高は258百万円、営業利益は5百万円となりました。

(アジア)

営業人員を増やす等、営業力を強化してきたことにより、売上高は133百万円、営業利益は9百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ793百万円減少し、10,410百万円となりました。これは主に譲渡性預金の満期等による有価証券の減少額330百万円、受取手形及び売掛金の回収による減少額281百万円、およびたな卸資産の減少額189百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ560百万円減少し、2,487百万円となりました。これは主に短期借入金の増加額253百万円がありましたが、支払手形及び買掛金の決済による減少額601百万円、長期借入金の返済による減少額166百万円があったことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ232百万円減少し、7,922百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の減少額134百万円、自己株式の買付63百万円、および剰余金の配当の実施額48百万円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)残高は、前連結会計年度末に比べ234百万円減少し、1,846百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は211百万円となりました。これは主に仕入債務の減少による資金の減少等もありましたが、減価償却費および売上債権の減少による資金の増加等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は345百万円となりました。これは主に投資有価証券および設備投資等有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10百万円となりました。これは主に短期借入れによる収入がありましたが、長期借入金の返済および自己株式の取得による支出等があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の予想につきましては、平成21年4月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準については、主として原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,630千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,378,741	1,293,495
受取手形及び売掛金	973,156	1,254,686
有価証券	474,120	804,204
製品	1,237,922	1,478,546
原材料及び貯蔵品	609,089	608,177
仕掛品	336,374	285,722
その他	270,398	282,045
貸倒引当金	△24,830	△21,659
流動資産合計	5,254,973	5,985,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,699,331	1,737,595
機械装置及び運搬具(純額)	794,405	835,958
土地	1,986,295	1,987,172
その他(純額)	152,652	221,354
有形固定資産合計	4,632,683	4,782,081
無形固定資産		
のれん	8,758	10,510
その他	45,305	55,569
無形固定資産合計	54,064	66,080
投資その他の資産		
投資有価証券	151,605	52,707
その他	379,196	382,617
貸倒引当金	△62,197	△65,127
投資その他の資産合計	468,605	370,197
固定資産合計	5,155,353	5,218,358
資産合計	10,410,326	11,203,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,028	1,079,993
短期借入金	692,852	439,528
未払法人税等	31,612	40,319
賞与引当金	169,189	91,671
その他	530,046	650,177
流動負債合計	1,901,729	2,301,690
固定負債		
長期借入金	253,514	420,226
退職給付引当金	199,500	198,128
役員退職慰労引当金	130,027	124,760
その他	3,192	3,458
固定負債合計	586,234	746,572
負債合計	2,487,963	3,048,263

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,750	878,750
資本剰余金	963,000	963,000
利益剰余金	6,295,427	6,326,353
自己株式	△137,200	△73,386
株主資本合計	7,999,977	8,094,717
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,403	6,167
為替換算調整勘定	△105,143	28,951
評価・換算差額等合計	△102,740	35,119
少数株主持分	25,125	25,476
純資産合計	7,922,363	8,155,313
負債純資産合計	10,410,326	11,203,577

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年9月1日
至平成21年5月31日)

売上高	5,212,058
売上原価	3,056,581
売上総利益	2,155,477
販売費及び一般管理費	2,070,872
営業利益	84,604
営業外収益	
受取利息	13,433
受取配当金	524
その他	10,622
営業外収益合計	24,580
営業外費用	
支払利息	13,645
為替差損	34,101
その他	7,402
営業外費用合計	55,149
経常利益	54,035
特別利益	
固定資産売却益	2,128
特別利益合計	2,128
特別損失	
固定資産除却損	2,297
特別損失合計	2,297
税金等調整前四半期純利益	53,866
法人税、住民税及び事業税	43,582
法人税等調整額	△10,055
法人税等合計	33,526
少数株主利益	3,042
四半期純利益	17,297

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年9月1日
 至 平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	53,866
減価償却費	396,991
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,166
賞与引当金の増減額 (△は減少)	77,517
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,372
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,267
受取利息及び受取配当金	△13,957
支払利息	13,645
為替差損益 (△は益)	△6,095
有形固定資産除売却損益 (△は益)	168
売上債権の増減額 (△は増加)	255,301
たな卸資産の増減額 (△は増加)	105,210
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	12,997
仕入債務の増減額 (△は減少)	△525,242
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△145,746
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26,808
その他	2,387
小計	261,659
利息及び配当金の受取額	13,647
利息の支払額	△13,425
法人税等の支払額	△50,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	211,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	8,524
有形固定資産の取得による支出	△253,085
有形固定資産の売却による収入	5,125
投資有価証券の取得による支出	△105,226
その他	△684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△199,009
自己株式の取得による支出	△63,814
配当金の支払額	△48,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89,805
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△234,549
現金及び現金同等物の期首残高	2,081,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,846,784

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成21年5月31日）

事業の種類として「自動車等の関連部品事業」および「超軽量小型飛行機事業」に区分しておりますが、当第3四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計額に占める「自動車等の関連部品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成21年5月31日）

	日本 (千円)	ヨーロッパ (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去または 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,269,478	257,183	563,082	122,314	5,212,058	—	5,212,058
(2) セグメント間の内 部売上高または振 替高	455,112	893	3,813	11,635	471,454	(471,454)	—
計	4,724,590	258,076	566,895	133,950	5,683,513	(471,454)	5,212,058
営業利益	181,650	5,654	11,860	9,237	208,403	(123,798)	84,604

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) ヨーロッパ…イギリス
(2) 北米…アメリカ
(3) アジア…タイ

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で3,630千円減少しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成21年5月31日）

	ヨーロッパ	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	273,636	581,735	637,501	1,492,874
II 連結売上高（千円）				5,212,058
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.2	11.2	12.2	28.6

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) ヨーロッパ……イギリスその他欧州域内諸国

(2) 北米……アメリカ

(3) その他の地域…アジア諸国他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年9月1日～平成20年5月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	6,218,497
II 売上原価	3,517,413
売上総利益	2,701,083
III 販売費及び一般管理費	2,454,106
営業利益	246,977
IV 営業外収益	67,530
V 営業外費用	56,832
経常利益	257,675
VI 特別利益	3,277
VII 特別損失	4,469
税金等調整前四半期純利益	256,483
税金費用	127,216
少数株主利益	585
四半期純利益	128,681

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

事業の種類として「自動車等の関連部品事業」および「超軽量小型飛行機事業」に区分しておりますが、全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計額に占める「自動車等の関連部品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年9月1日 至平成20年5月31日）

	日本 (千円)	ヨーロッパ (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去または 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,969,235	367,183	779,590	102,488	6,218,497	—	6,218,497
(2) セグメント間の内 部売上高または振 替高	703,351	2,748	14,161	21,565	741,827	(741,827)	—
計	5,672,586	369,932	793,752	124,054	6,960,325	(741,827)	6,218,497
営業費用	5,238,431	372,569	812,905	126,969	6,550,876	(579,356)	5,971,519
営業利益または営業損失 (△)	434,155	△2,637	△19,153	△2,915	409,448	(162,470)	246,977

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年9月1日 至平成20年5月31日）

	ヨーロッパ	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	406,241	727,026	692,469	1,825,737
II 連結売上高（千円）				6,218,497
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	6.5	11.7	11.1	29.4